

スマートグリーンハウスにおける キュウリ栽培の理論と実技(全2回)

2021年11月10日(水)～12日(金)、12月1日(水)～3日(金) 全6日間

太陽光型植物工場では様々な野菜が生産されていますが、それぞれに最適な栽培システムや栽培方法、環境制御方法は異なります。本研修では、キュウリ実習用栽培施設を使って、2ヶ月間にわたり実際栽培を体験しながら、栽培の理論と実技を総合的に学びます。

◆ 講座の狙い

- ・植物工場におけるキュウリの播種から収穫までを体覚えていただく実習中心の研修です。
- ・専用栽培施設で実際に栽培するため、生育に応じて2ヶ月におよぶ研修期間となっています。
- ・栽培に関する理論については、一流の講師陣によって対面講義中心で実施いたします。

◆ 募集要項

【受講対象】 これから太陽光利用型植物工場で、キュウリなどの果菜類の栽培を始めようとされている、比較的初心者の方を主な受講対象として考えています。キュウリの高効率栽培を検討される方には最適な研修です。

【受講場所】 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

【受講費用】 132,000円/人 (消費税、教材費等込)※分割でのお支払も可能です。申込フォームの特記事項にご記入ください。

【募集人数】 15名程度

【講座責任者】 篠原 温 (千葉大学 名誉教授)・塚越 覚 (千葉大学 准教授)

【申込方法】 植物工場研究会ホームページの申込専用フォームからお申込みください。
ご登録のメールアドレスに、「申込受付完了」メールが自動送信されます。

*メールが届かない場合は問合せ先へご連絡ください。

【受講確定】 申込先着順に「内定通知」をご連絡致します。

受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。

入金確認後に「受講確定」をご連絡致します。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。※コロナに起因する場合は例外となります。

【募集期間】 2021年9月29日(水)～11月4日(木)15:00

*申込状況により募集期間中に締切ることがございます。

*感染症の流行や主催側に起因する理由により中止となる場合は受講費用を払戻致します。

◆ 開講期間



キュウリ実習用栽培施設にて
施設完成後最初の試験栽培

全6日間 第1回 2021年11月10日(水)～ 11月12日(金) 3日間 (2ページ目スケジュール参照)

第2回 2021年12月 1日(水)～ 12月 3日(金) 3日間

◆ お問合せ

特定非営利活動法人植物工場研究会 (担当: 戸井)

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

E-mail : plant-factory@office.chiba-u.jp

Tel&Fax: 04-7137-8307



キュウリ実習用栽培施設にて
研修用定植から12日目の様子



2021年度植物工場研修

研修No12

スマートグリーンハウスにおけるキュウリ栽培の理論と実技

第1回	I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00) 昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
11/10 水			そもそもキュウリとは	生育診断方法の考え方	育苗技術
		受付: 12:30~(予定) 開講式: 12:45~ 挨拶 受講案内	・原産と来歴 ・日本での生産状況 ・栽培方法 ・かっぱランドシステムについて	・生育ステージ別 ・診断後の対応について	育苗の重要性と良苗 育苗培地の特性 育苗管理の注意点
		千葉大学名誉教授 篠原温	元三菱ケミカルアグリドリーム 稲山光男	植物工場研究会 木村哲	植物工場研究会 布村伊
11/11 木	実習			病害虫の防除	
	キュウリ養液栽培システムの説明	【栽培管理】 ・播種 ・接ぎ木 ・育苗 ・栽培管理 ・定植 ・生育診断		・病害虫の基礎知識 ・病害虫の防除技術	
	三菱ケミカルアグリドリーム 村岡 修一	NPO植物工場研究会 布村伊		千葉大学 宇佐見俊行	
11/12 金	養液栽培の基礎	環境要素の計測と制御技術	キュウリの多収生産技術	まとめ・質疑応答	
	・養液栽培とは ・栽培装置 ・給液システム ・培養液管理	日射と長波放射 被覆資材 暖房、保温、冷房（高温対策）	・キュウリの栽培特性 ・環境制御の考え方 ・多収生産技術と環境制御 収量構成要素、受光量の向上 光利用効率		
	千葉大学 塚越覚	東海大学名誉教授 林真紀夫	農研機構 安東赫	講師(会場)	
第2回	I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00) 昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
12/1 水			キュウリで高収量(40t~50t/10a)を実現するための養液土耕栽培	施設園芸の経営	ポストハーベスト
		受付: 12:45~(予定)	・日射比例養液土耕栽培 ・環境制御(地上部、地下部) <Web講義>	大規模経営で特に問題となる課題、人材育成や組織運営の優良事例紹介、人材育成のためのポイント	流通について 加工や業務用への対応
			北部九州胡瓜研究会会長 山口仁司	農研機構 田口光弘	千葉大学 櫻井清一
12/2 木	実習			研修ハウスの環境制御	JA西三河きゅうり部会のスマート農業への取組
	【栽培管理】 ・品種と仕立て方 ・薬剤防除 ・収穫 ・11/11定植の生育診断		キュウリ研修で見える化した情報をみんなで議論しよう	・産地の現状 ・ICTを活用した産地の生産性向上 など	
	NPO植物工場研究会 布村伊		千葉大学 中野明正	JA西三河きゅうり部会 下村堅二	
12/3 金	太陽光型植物工場の比較検討(講義と見学)			まとめ・質疑応答	修了式
	「ハウス構造」・「養液栽培システム」・「環境制御」の様式と実際 ※詳細は下記など			※講師はZOOM参加可	~15:00(予定) 修了証書授与
	NPO植物工場研究会・元千葉大学 丸尾達			講師(会場・ZOOM)	千葉大学名誉教授 篠原温

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性がります。詳細は講義初日に配布いたします

12/3(金)1~2コマ『太陽光型植物工場の比較検討』 主な内容

「ハウス構造の様式と実際」・ハウスの基礎構造 ・ハウス骨材 ・ハウス形状 ・軒高 ・ハウス天窓 ・ハウス被覆資材 ・被覆資材留め具

「養液栽培システムの様式と実際」・ NFT、DFT、固形培地耕 ・ベッド構造 ・育苗システム ・培養液循環システム ・培養液管理システム ・栽培培地

「環境制御の様式と実際」

・環境制御システム ・暖房システム ・CO₂施用システム ・冷房システム ・カーテンシステム ・飽差制御システム ・天窓 ・側窓制御システム